

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ベリー		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性のある支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9つの活動を毎月取り入れ、個々の発達に応じた活動内容を考え支援している</li> <li>・支援内容や特記事項については、ミーティングを中心に共有し支援を行っている</li> <li>・職員が研修に参加し勉強する機会を作っている</li> </ul>	職員がスキルアップを目指して行けるように、研修に参加したり勉強会を開催していく
2	一人ひとりに応じた支援が行えるように情報共有ができています	毎日、支援後にミーティングを行い、職員間での情報共有、毎月の全体ミーティングで支援方法についての共有、勉強会など行っている	ミーティングに参加出来なかった職員に対してもミーティングボードで支援内容や特記事項など確認してもらい共有をしていく
3	定期的な活動内容の発信や、保護者向けの勉強会や親子行事、パパ会などを開催している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月「おたより」にて活動内容や連絡事項を発信している</li> <li>・連絡帳やLINEを活用し個別で対応している</li> <li>・母親だけではなく父親が参加しやすい行事を開催することで、お子さんへの理解を深めてもらう機会を作っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの周知や有効活用</li> <li>・保護者からのご意見を聞きながら、勉強会や行事の開催をしていき参加できる機会をつくる</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	広い活動スペースの確保	2部屋を活動のスペースとしているが、広い部屋がないためので、身体を動かす活動が限られてしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方との交流を含め、公民館の講堂を借りてリズムや粗大運動等行っていく</li> <li>・天気の良い日は園庭で引き続き遊ぶ</li> </ul>
2	保育園やこども園、幼稚園との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍以前は園と交流会を行っていたが、その後中止になってしまった</li> <li>・園との併用児が多い</li> </ul>	園との交流については行政と相談していく
3	ホームページを通じての情報発信	ホームページの周知不足	・ホームページの内容の検討や保護者への周知をしていく